

米代金支払い求め 31人が追加提訴

酒田や遊佐の生産者

酒田市や遊佐町の米生産農家がJA庄内みどり（酒田市、阿部茂昭組合長）に米販売代金の未払い分の支払いを求めた集団訴訟で、原告側は10日、第5次とし

て31人が追加提訴し、計14人となったと明らかにした。さらに十数人が提訴を予定しており、原告は130人超となる見込み。追加提訴は5日付。

この日は、地裁鶴岡支部で弁論準備手続きが行われ、原告側が販売代金から控除されたと主張する倉庫

利用料などの内容を確認した。次回6月11日の弁論準備手続きでは、双方の証人尋問に向けた日程の調整などをを行う。

同JA側は昨年末、原告側の主張が認められた場合、原告の一部が不当に得るとする利益分の返還を求め、予備的反訴を行った。